

全国月間火山概況

桜島の昭和火口では、6月下旬からやや活発な噴火活動が続き、7月は爆発的噴火が55回発生しました。18日および19日の爆発的噴火では、昭和火口の南東約3kmに設置している空振計で100Paを超える空振が観測されるなど、噴火活動はさらに活発化するおそれがあると判断し、19日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から3（入山規制）に引き上げました。

口永良部島では、GPSによる地殻変動観測で新岳火口浅部の膨張を示す変化が認められなくなったことなどから、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断して、8月4日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（平常）に引き下げ、噴火警報を解除しました。

その他の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありませんでした。

8月7日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表1のとおりです。

表1 8月7日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3 （入山規制）	桜島
	レベル2 （火口周辺規制）	浅間山、三宅島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報及び火山現象に関する海上警報	周辺海域警戒	福徳岡ノ場
噴火予報	レベル1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）、口永良部島
	平常	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、新潟焼山、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカランダナ山、乗鞍岳、白山、伊豆東部火山群、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、婿婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）



図1 噴火警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

浅間山【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

山頂火口からの噴煙量は4月以降大きな変化はなく、噴煙高度は火口縁上100～200mで推移しました。

16日に実施した現地調査では、山頂火口からの二酸化硫黄の放出量は一日あたり300～500トンと、3月以降減少傾向がみられますが、2008年7月以前の状態と比べ引き続き多い状態が続いています。火山性地震及び火山性微動はやや多い状態が続いています。

山体周辺のGPS連続観測では、昨年7月初め頃からみられていた深部へのマグマの注入を示す伸びの傾向は、今年7月頃から鈍化しています。

浅間山では、今後も山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がありますので、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では、降灰および風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。また、火山ガス放出量の多い状態が続いていますので、風下側にあたる登山道等では、火山ガスに注意が必要です。

三宅島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

15日および30日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量は一日あたり800～1,900トンで、前期間（2008年6月、一日あたり500～1,300トン）と同様、依然として多量の火山ガス放出が続いています。また、三宅村の火山ガス濃度観測によると、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

噴煙高度は火口縁上概ね200mで推移しました。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

地磁気連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化はありませんでした。

GPS連続観測では、山体浅部の収縮がわずかながら継続しています。

三宅島では、山頂火口周辺（雄山環状線内側）に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、山頂火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可

能性があると予想される地域火山ガスに対する警戒が必要です。降雨時には泥流にも注意が必要です。

硫黄島 【火口周辺警報(火口周辺危険)】

27日に海上自衛隊の協力を得て行った上空からの観測では、昨年の観測(2008年7月29～30日)と比べて、島内の噴気、地熱等の状況に大きな変化は認められませんでした。

独立行政法人防災科学技術研究所及び国土地理院の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過していますが、2006年8月以降みられている島全体が隆起する地殻変動は、2009年5月中旬頃から隆起の傾向が鈍化しています。

硫黄島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

福德岡ノ場 【噴火警報(周辺海域警戒) 及び火山現象に関する海上警報】

27日に海上自衛隊の協力を得て行った上空からの観測では、福德岡ノ場付近で乳白色の変色水が確認されました。同海域付近に浮遊物は確認されませんでした。

これまでの海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊による上空からの観測でも、福德岡ノ場付近の海面に、火山活動によるとみられる変色水が確認されています。

福德岡ノ場では小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

阿蘇山 【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

15日の夜間に行った現地調査で、南側火口壁の噴気孔において火炎現象および赤熱現象が観測されました。火口内で発生した局所的な活動と考えられます。

二酸化硫黄の放出量は一日あたり300トンで前期間(2009年6月、一日あたり400～500トン)と同様、少ない状態で経過しました。

中岳第一火口の湯だまりの量は2007年10月頃から緩やかな減少傾向が続いています。表面温度に大きな変化はありませんでした。

地磁気観測による火山体内部の熱の状況では、2006年夏頃から、中岳第一火口北側に近い観測点で全磁力のわずかな増加がみられましたが、2008年以降はその増加傾向が鈍っています。

その他の火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。ただし、火口内では火山灰や火山ガスの噴出が見られることから、火口内及びその周辺では火山灰の噴出等に警戒が必要です。また、火口周辺では火山ガスに対する注意が必要です。

桜島【火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)】 ←7月19日に噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引上げ

昭和火口では、6月下旬からやや活発な噴火活動が続き、7月は爆発的噴火が55回発生しました。このうち18日16時08分と19日00時28分の爆発的噴火では、昭和火口の南東約3kmに設置している空振計で100Paを超える空振を観測しました。また、19日09時42分には87Paの空振を伴い、大きな噴石が5合目まで達する爆発的噴火が発生しました。

これらのことから桜島の噴火活動はさらに活発化するおそれがあると判断して、19日11時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引上げました。

桜島の直下にマグマが新たに移動、上昇したことを示す地殻変動は観測されていません。

国土地理院によるGPS連続観測では、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)の地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な膨張が継続しています。

昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に、降雨時には泥流や土石流に注意が必要です。

薩摩硫黄島 【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】

火山性地震はやや多い状態が続いています。

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発で、噴煙の高さは火口縁上100～200mで推移しました。

薩摩硫黄島では、硫黄岳山頂火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、火口周辺では警戒が必要です。

口永良部島 【噴火予報(噴火警戒レベル 1、平常)】 ←8月4日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から
1（平常）に引下げ

GPS 連続観測では、2008 年 9 月から続いていた新岳火口浅部の膨張を示す変化が 2009 年 2 月以降鈍化し、6 月に入り認められなくなりました。また、火山性地震及び火山性微動は少ない状態が続いています。これらのことから、口永良部島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断して、8 月 4 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）に引下げ、火口周辺警報を解除しました。

火口内では噴気や火山ガスの噴出がみられることから、火口内等では警戒が必要です。

諏訪之瀬島 【火口周辺警報(噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)】

御岳^{おたけ}火口では、小規模な噴火が断続的に発生し、そのうち爆発的噴火が 7 回発生しました。火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。諏訪之瀬島では長期的にわたり噴火活動を繰り返しています。

諏訪之瀬島では、今後も御岳火口から約 1 km の範囲に大きな噴石を飛散させる噴火が発生すると予想されるので、これらの地域では警戒が必要です。

（火山の順は活火山総覧（第 3 版）による）

資料１ 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成 21 年 8 月 7 日現在）

（１）主な活火山

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 9 月 29 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 10 月 17 日 噴火予報（平常） 2008 年 11 月 17 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 12 月 16 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 4 月 10 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 12 月 16 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 6 月 9 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	恵 山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009 年 4 月 10 日 噴火予報（レベル 1、平常）切替
	浅間山	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008 年 8 月 8 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 4 月 7 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	白 山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル 2、火口周辺規制）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 3 月 31 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007 年 12 月 1 日 噴火警報（周辺海域警戒）

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル１、平常）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル１、平常）
	桜 島	火口周辺警報（レベル３、入山規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル３、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	口永良部島	噴火予報（レベル１、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル１、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル１、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）

注）噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。
この表では、主な活火山として、警報を発表している、または連続的に監視を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

（２）その他の活火山

以下の活火山では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山